
第 136 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CXXXVI Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時：2020 年 4 月 19 日（日）14:00 - 16:00 (13:40 - 17:20)

場所：Zoom を利用し、オンライン開催

特別テーマ：「Zoom を使った遠隔授業の実験」

参加者：27 名

実施報告（本文書）作成者：柳田玲奈

* Fecha y hora: domingo, 19 de abril de 2020, de 14:00 a 16:00 (13:40 - 17:20)

* Reunión On-Line con el sistema Zoom

* Tema especial de la reunión de abril: “Experimento de clase remota con el Zoom”

* Participantes: 27 personas

* Este informe han encargado a Reina Yanagida.

2020 年に入って世界中にじわじわと蔓延し始めた新型コロナウイルスの猛威に、4 月からの教育活動も大いに影響を受けることとなりました。多くの大学でオンライン授業が求められる状況を鑑み、我々教員にとっても暗中模索状態であるこの状態に少しでも活路を見出すべく、TADESKA では 4 月例会をオンライン授業のための実験の場として以下の要領で実施しました。

- 1) 方法：WEB を用いたバーチャル例会（クラウド型ビデオ会議システム Zoom を使用）
- 2) 内容：Zoom を使った遠隔授業の実験

参加者 27 名のうち 5 名が順に教員役として模擬授業を実施しました。その中で、主に以下のポイントについて実験し、他の参加者も生徒役として模擬授業を体験し、参加者全員でいろいろな確認と発見をすることができました。

- ①Zoom への入退室
- ②画面共有（ホワイトボード、パワポスライド、その他）
- ③ブレイクアウトルーム（グループワーク）
- ④チャット（質問等のやり取り、資料配布）
- ⑤音声関連（大人数でのやり取り、ミュートなど）
- ⑥スマートフォンで受講

例会は 14 時に開始し、16 時に終わる予定でしたが、14 時開始前のアイドリング時間として 13:40 に開室し、16 時以降も時間の許す参加者たちが残ってさらなる実験や、ホスト役の体験などをしました。最終的に会議室を閉めたのは 17:20 頃でした。

授業は教員の舞台というわけではなく、受講生である学生たちとのインタラクティブな場

であることを考えると、今回ある程度まとまった人数での実験ができたことは非常に有意義だったと思います。学生と音声のやり取りをしようと思うとどういった問題が生じるか、学生にチャットを利用してもらうことは現実的に可能かなど、授業運営に大きく関わる点が検証できました。また、Zoomの利用自体にまだ慣れていない参加者もいる中、各参加者が不安に思っていた Zoom の操作性などを順番にゆっくり確認する時間がとれたこともよかったです。

本例会での体験を忘れないよう、現在、参照可能な資料作成の最中です。(近日公開予定)

徐々に実際にオンライン授業が各大学で実施され始めており、これからまだしばらくはオンライン授業が必要なこの状況は変わらないことが予想されます。その中でまた新たにお困りごとなどが出てくる可能性も十分あると思います。これからも教員たちが個々に抱える不安を解消する糸口をみんなで一緒に見つけていける場に、TADESKA がなればよいと考えています。

1) Reunión On-Line con el sistema Zoom

2) Experimento de clase remota utilizando el sistema Zoom

Dentro de 27 participantes, 5 ejecutaron clase remota de prueba con los otros participantes como alumnos. Los puntos que nos enfocamos fueron siguientes:

- i. Entrar y salir de la reunión de Zoom.
- ii. Compartir los contenidos en la pantalla (pizarra, diapositivas de Power Point, etc.)
- iii. Breakout Room (actividad en grupo)
- iv. Chateo (intercambio de preguntas y respuestas, reparto de documentos)
- v. Sonido (intercambio de voz en un grupo numeroso, etc.)
- vi. Asistir a la clase con el smartpone.

Dado que una clase no es una escena de monólogo del profesor sino que es un lugar interactivo, fue muy valioso haber podido practicar los experimentos con cierto número de participantes. Aprovechamos esta oportunidad para confirmar el procedimiento y manejabilidad del Zoom y diluir un poco la inquietud.

Actualmente estamos elaborando unas listas de los hallazgos nuestros. (Se harán públicas próximamente.)

Se están empezando poco a poco las clases on-line en algunas universidades y cada profesor podrá tener otras preocupaciones llevándolas a cabo. Espero que las reuniones siguientes también sean unos lugares donde encontraremos más pistas y damos un paso a la posibilidad de clase de español.